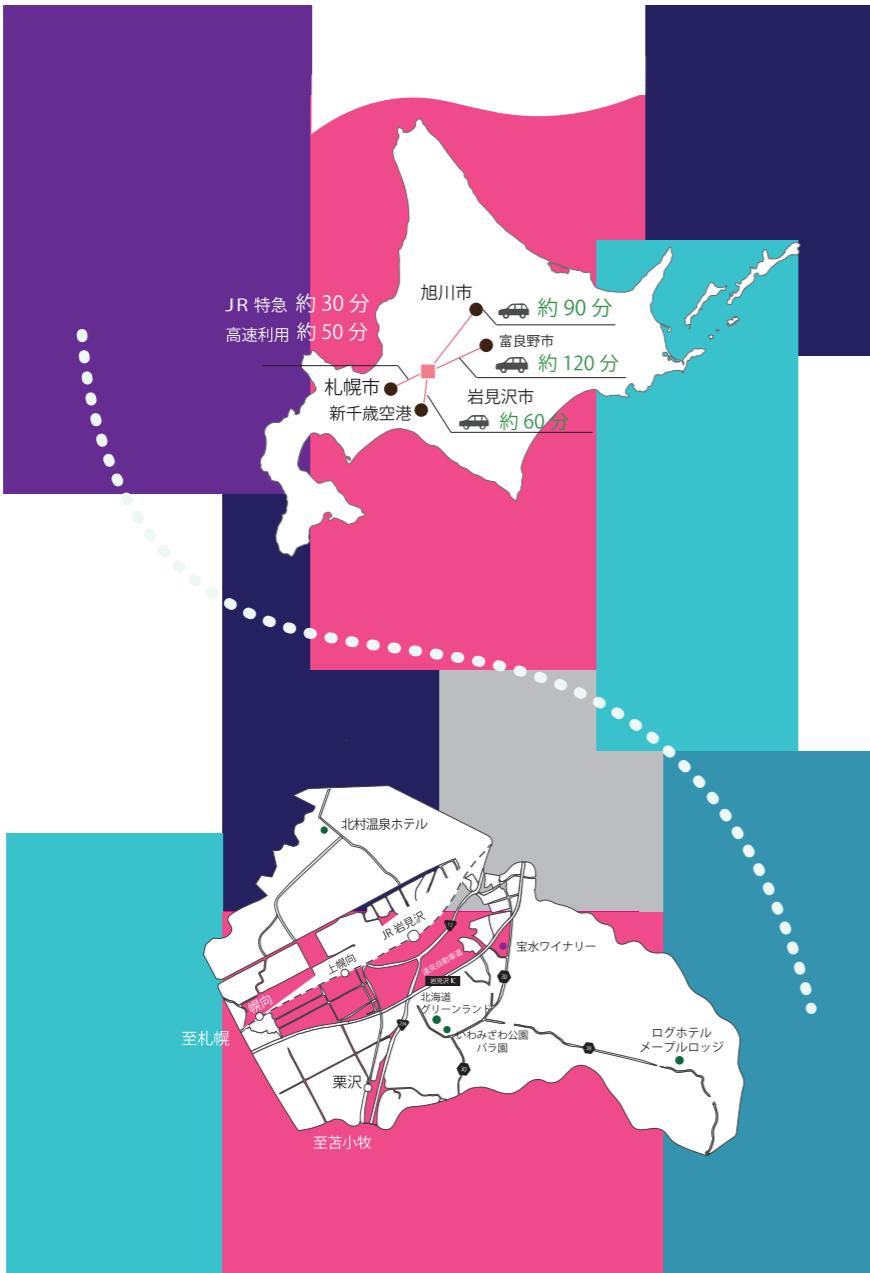


HOKKAIDO

ACCESS



MAP

2024
SPECIALBOOK



おもむ

ABOUT IWAMIZAWA

CONTENTS



Welcome to Iwamizawa

01

CONTENTS	01
ABOUT IWAMIZAWA	02
寄附金の使い道	03
寄附金の活用事例	04
いわみざわのまち図	05-06

02

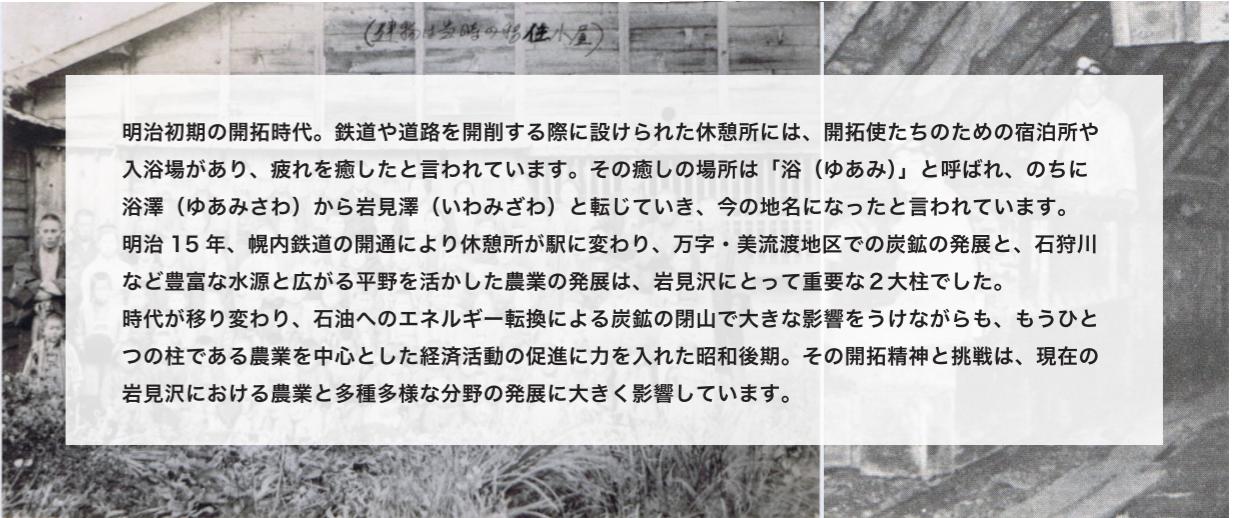
Category

お米／Rice	07-12
加工食品／Processed foods	13-18
野菜／Vegetables	19-20
果物・フルーツ／Fruit	21-22
肉・酒／Meat・Sake	23-24
パン・スイーツ／Bread・Sweets	25
コーヒー屋のおいしい話	26
陶芸品／Ceramics	27-28
工芸品／Craft	29
バラエティ／Variety	30
体験・宿泊／Activities・Stay	31-32

Others

ふるさと応援寄附について	33
Special Thanks・事業者一覧	34

03



明治初期の開拓時代。鉄道や道路を開削する際に設けられた休憩所には、開拓使たちのための宿泊所や入浴場があり、疲れを癒したと言われています。その癒しの場所は「浴（ゆあみ）」と呼ばれ、のちに浴澤（ゆあみさわ）から岩見澤（いわみざわ）と転じていき、今の地名になったと言われています。明治15年、幌内鉄道の開通により休憩所が駅に変わり、万字・美流渡地区での炭鉱の発展と、石狩川など豊富な水源と広がる平野を活かした農業の発展は、岩見沢にとって重要な2大柱でした。時代が移り変わり、石油へのエネルギー転換による炭鉱の閉山で大きな影響をうけながらも、もうひとつの柱である農業を中心とした経済活動の促進に力を入れた昭和後期。その開拓精神と挑戦は、現在の岩見沢における農業と多種多様な分野の発展に大きく影響しています。

Life

暮らし

岩見沢市は、広々とした大地に広がる自然、市民の食を支える豊富な農産物、公園や憩いの場が充実したまちです。子育ての面においては、保育施設や支援センターなどの関連施設が充実しており、ファミリー層を含めた老若男女が安心して過ごせるのも魅力の一つ。春～秋にかけての気候はとても過ごしやすく、豪雪地帯と言われる冬も除排雪機能が整っている岩見沢では、生活に不便を感じることなく過ごせます。

Sightseeing

観光

札幌や新千歳空港から約1時間というアクセス抜群の地である岩見沢には、地元の豊富な農産物をはじめ、冷涼で味わい深いワインを造る宝水ワイナリーやバラ園など素敵な観光スポットが多くあります。また、大自然と文化を満喫できる体験や、温泉ホテル・ゲストハウスなどもあるので、岩見沢の食を味わい、思いっきり遊び尽くしたあとは、素敵な宿でゆったりとした時間を過ごす…。そんな素晴らしい旅ができるのが、ここ「岩見沢」なのです。

Nature experience

自然体験

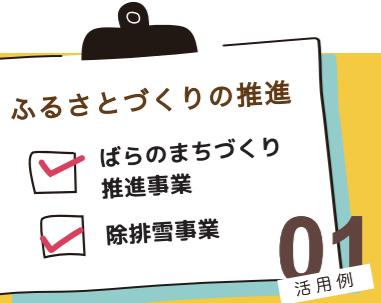
ここでしか体験できないアクティビティとして、空知の自然と炭鉱の歴史をめぐるサイクリングツアーや、岩見沢の大自らの中を走る四輪バギー体験、北海道最古の窯元である「こぶ志窯」での陶芸体験など、さまざまなコトを体験できます。冬には、ログホテル・メープルロッジのフィールド内での「かまくらカフェ」が人気で、宿泊だけでなく日帰り温泉利用や、かまくらカフェだけでの利用も可能です。

令和4年
ふるさと応援寄附総額
314,550,000円

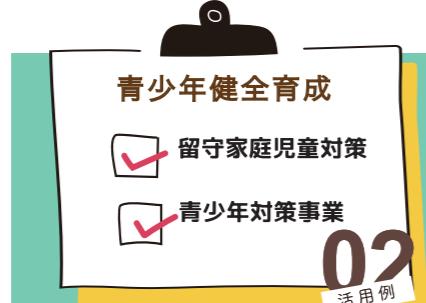


寄附金の使い道

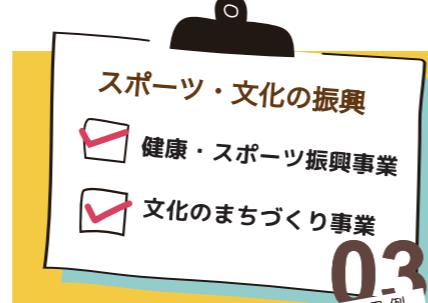
皆様からの寄附金は、お選びいただいた寄附金の使い道に基づき、有効に活用させていただきます。今後も皆様からの想いを、岩見沢市の未来へ繋げてまいります。



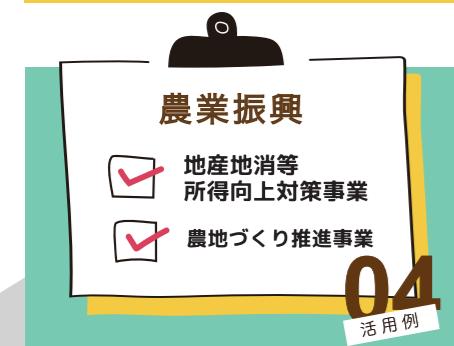
北海道の中でも豪雪地帯とされる岩見沢の除雪体制確保や、除雪機械の整備。いわみざわ公園バラ園をはじめとした市内各所のバラの管理を市民と協働で行っています。



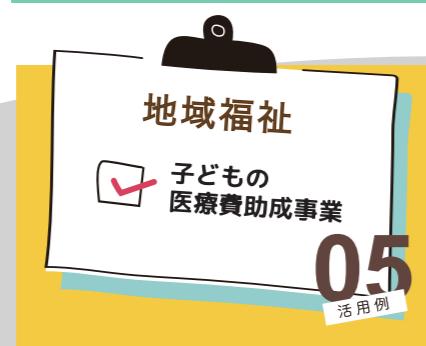
留守家庭児童が放課後も地域で安全で健やかに過ごせるよう、放課後児童クラブの運営などを通じ、遊びや生活の場を提供しています。



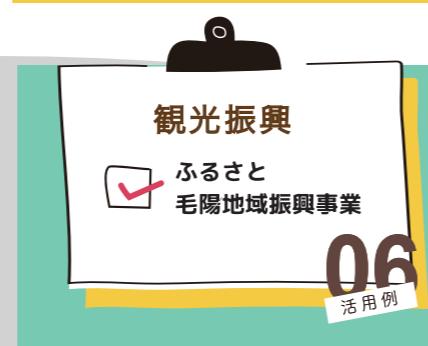
キタオンやまなみーるなどを拠点とした芸術文化の鑑賞機会の提供や、地域スポーツの振興及び競技力の向上。(強化指定選手等の認定選手への奨励金)



代表的な農作物である米や玉ねぎの収量や品質向上など、生産改善に向けた取組みや、地産地消の消費者へのPR、販路拡大等の推進。



子育て世代の経済的な負担軽減を図り、子どもの健康を増進する為、乳幼児と小・中学生の医療費を助成しています。



豊かな自然や歴史・伝統・食などの「いわみざわ」の特徴を活かした観光によるまちづくり。

寄附金の活用事例

ふるさとづくりの推進

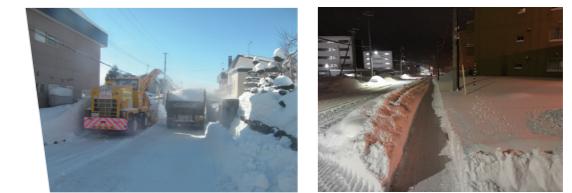
岩見沢市民の冬の暮らしを守る

除排雪事業

馬淵建設株式会社 代表取締役 久保 隆 社長

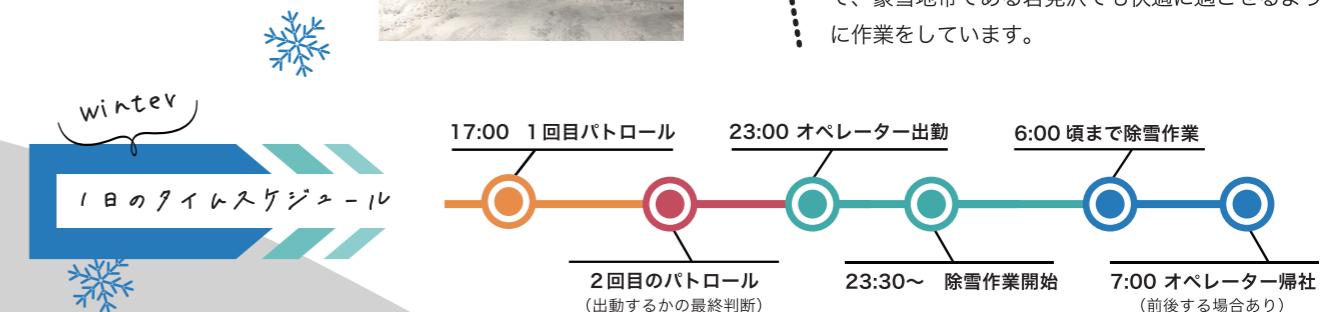
豪雪地帯と言われる「岩見沢市」
除雪のレベルが高いワケは

「長年の除雪作業により、道路状況や除雪の要所がわかっている企業が多いのが岩見沢。除雪作業により圧雪になった場合の路面の状況の知識や、天候の変化により、このエリアがこうなるかもしれないといった正確性の高い予測・判断が、岩見沢の企業は長けているのかもしれない」そう教えてくれたのは、岩見沢市の除雪委託企業である、馬淵建設株式会社 代表取締役 久保隆社長。これまで何度も大雪を乗り越えてきた経験に加え、事前に道路状況や高低差等の特徴を把握することで、効率的に作業が行えるとのこと。



雪の状況で作業が変わる?

「雪が降らない日が続く時は何をしているのかと聞かれることもありますが、そういった時にも岩見沢市からの要請などで、優先的にバス道路（幹線道路）や通学路の排雪作業をしています。市民の生活に支障がないよう深夜のうちに作業が多いです。生活に直結する場所を優先的に除雪・排雪することで、豪雪地帯である岩見沢でも快適に過ごせるように作業をしています。



※冬の除雪作業のスケジュール例



岩見沢市志文町 966 番地 15

0126-25-6400

馬淵建設は土木工事と造園工事を事業の2本柱とする地域密着型の建設会社です。

企業間の連携「ジョイントベンチャー」

建設企業が企業体を組んでいることについて、久保社長は「機械が故障した・インフルやコロナで人がいない、といった突然に何かがあった時や、降雪状況により作業に遅れが出るトラブルが起きた時など、その企業体同士で助け合えるのが一番のメリット。この仕組みがあることで、企業同士の繋がりや助け合いが生まれ、冬の岩見沢市民の皆様の生活を支えています」と重要性を伝えてくれました。

ジョイントベンチャーとは・・・複数の建設企業が、一つの建設工事を受注、施工すること目的として形成する事業組織体のこと。

いわみざわのまち図



いわみざわ公園見晴台

岩見沢の田園風景やバラ園を上から眺めることができる絶景 SPOT !
最上段まで車いすで移動でき、高齢者や体の不自由な方が円滑に利用できる
ようユニバーサルデザインという視点で設計・整備されています。



1 北村温泉ホテル

源泉掛け流し 43 度の天然温泉。
全 16 室ある客室にはバリアフリーの対応と和室に洋の趣を取り入れ、館内には女性専用の休憩室もあり、お客様がゆったりと過ごしやすい空間となっています。

※ふるさと応援寄附返礼品に掲載中。

2 JR 岩見沢駅

鉄道のまち「岩見沢」らしさが随所に散りばめられています。駅の窓枠は古レールを使用し、実際のレールの幅間隔で設計。内壁のレンガは北国らしい積み方を表現しています。

3 北海道グリーンランド

北海道内最大級の大観覧車の高さは 85 m !
40 種類以上のアトラクションがあり、キッズ向けのイベントも開催されたりと、1 日中遊び尽くせる場所です。

4 いわみざわ公園バラ園

バラ園全体で、約 630 品種 8,800 株のバラとハマナスが植えられています。整形式ローズガーデンはアーチやつるバラのスタンドなど、立体感を演出しています。
(見頃：6 月下旬～10 月中旬)



5 宝水ワイナリー

宝水ワインは、雪国であるこの地のテロワールが溶け込んだ味わいを魅せてくれます。
冷涼な気候の中、冬には雪がぶどうの樹を毛布のように包み込むことで、すっきりとした味わいに仕上がります。

※ふるさと応援寄附返礼品に掲載中。



6 ログホテル・メープルロッジ

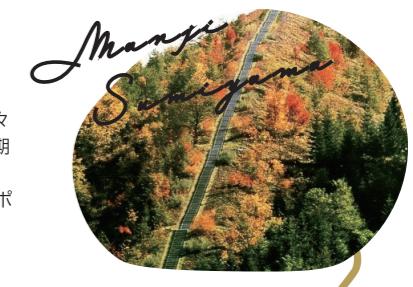
大自然に囲まれた森の中のログホテル。
温泉やフィンランド式サウナ、地元の野菜をふんだんに使用したレストランメニューなど、非日常のゆったりとした時を過ごせます。屋外フィールドでのアクティビティ体験も人気。

※ふるさと応援寄附返礼品に掲載中。



7 万字炭山森林記念公園

かつての炭鉱のズリ山やその周辺を利用し、様々な種類の樹木が植えられ、春の桜や秋の紅葉時期には素晴らしい景観になります。
直線 775 段を含めた 2,468 段の階段は、散策スポットとして最適です。



いわみざわ万字ポンネ湯

岩見沢市の秘湯、万字ポンネ湯。
温泉スタンドで、冷泉をご自宅に持ち帰り温泉気分を楽しめます。
※ふるさと応援寄附返礼品に掲載中。

日本遺産 「炭鉄港」

空知の炭鉱、室蘭の鉄鋼、小樽の港湾と、それらを繋ぐ各地の鉄道施設。その地域に残る「北の産業革命 炭鉄港」の足跡。
空知地域では 12 市町に 45 の構成文化財があり、岩見沢市からは 4 点が選ばれています。



① 1909 (明治 42) 年に建築された石蔵。
現在は、市民団体により「炭鉱の記憶」を伝承するインフォメーションセンターとして運営。

② 1919 (大正 8) 年に開駅した国鉄万字線の駅舎。1985 (昭和 60) 年万字線廃止に伴い廃駅。(旧朝日駅)

③ 道内で唯一現役で稼働する鉄道レール工場。
経済産業省の近代化産業遺産 (北海道炭鉱) に登録されています。

④ 1922 (大正 11) 年に建設が始まった操車場。
炭鉱が盛んになるにつれ拡大していき、かつては東北以北最大の操車場と言われていました。